

シャーリー・テンプル

Shirley Temple

生年月日 1928/04/23

出身地 アメリカ／カリフォルニア州サンタモニカ

没年 2014/02/10

関連人物 ジョン・エイガー（元夫）
マリナ・ブラック（姪）

【バイオグラフィ】

■本名はShirley Jane Temple。父は銀行の頭取。母が早くからその才能を見出し、1932年、4歳で映画デビュー。やがて作曲家のジェイ・ゴーンに認められ「歓呼の嵐」に出演して大人気を博し、8歳の誕生日には13万個に及ぶプレゼントが届いたという（日本では当時シャーリー・テンプルと呼ばれていた）。38年ごろには一本の出演料が100万ドルを越え、かわいい子役から完全にスターとなった。しかし40年あたりから次第に人気も薄れ、映画各社から出演交渉があったがどれも企画段階で消滅。44年にはセルズニックと7年契約をするも「独身者と女学生」が注目を受けた程度で結局大成はしなかった。50年に引退。その後は政治に興味を示すようになり、67年にカリフォルニアで下院議員の補欠選挙に打って出るが落選。69年にはフォード大統領から国連の代表に任命され70年まで就任。以降74年にはガーナ大使を76年まで、89年にはチェコの大使に就任した。サンフランシスコ映画祭の審査委員となったこともあり、スウェーデン映画を非難するなどタカ派としても有名だった。45年にジョン・エイガーと結婚するが5年後に離婚。同年再婚した。2014年2月に老衰のため死去。享年85歳。

【フィルモグラフィ】

シャーリー・テンプル物語（2001）	原作
妖艶美女大全集／銀幕の女神たち（1965）	出演
我輩は新入生（1949）	出演
令嬢画伯（1949）	出演
シービスケット物語（1949）	出演
アパッチ砦（1948）	出演 : フィラデルフィア・サースデイ
独身者と女学生（1947）	出演
どたばたハネムーン（1947）	出演
接吻売ります（1945）	出演
君去りし後（1944）	出演 : ブリジット・ヒルトン
戀の十日間（1944）	出演
シャーリー・テンプルの夢みるお年頃（1942）	出演
テンプルちゃんの小公女（1939）	出演
農園の寵児（1938）	出演
天晴れテンプル（1938）	出演
ハイデイ（1937）	出演
テンプルの軍使（1937）	出演
軍使（1937）	出演
テンプルの灯台守（1936）	出演
テンプルの福の神（1936）	出演

テンプルの愛国者 (1936)	出演
テンプルのえくぼ (1936)	出演
小聯隊長 (1935)	出演
私のテンプル (1935)	出演
テンプルちゃんお芽出度う (1935)	出演
紐育の口笛 (1934)	出演
輝く瞳 (1934)	出演
ベビイのお目見得 (1934)	出演
可愛いマーカちゃん (1934)	出演
久遠の誓ひ (1934)	出演 : ペネロープ・デイ (ペニー)
心の緑野 (1934)	出演
歡呼の嵐 (1934)	出演
南風の恋歌 (1934)	出演
最後の一人まで (1933)	出演